

なののはな だより

NANOHANA
DAYORI

老健ちば

No. **116**

January 2026

偕楽園：おやつイベント



INDEX

広報eyes

第36回
全国介護老人保健施設大会 山口

フォーカス「老健ちば」

〈新年のごあいさつ〉

千葉県老人保健施設協会

会長 梶原崇弘

アンケート結果報告

〈特集広報レポート〉

令和7年度千葉県老人保健施設大会 最優秀賞

ハートケア流山

心理的安全性に配慮した人材育成

高卒者の人材定着システム

〈研修会報告〉

自由気ままに

ペーパーブログ

〈脳活に「落語」はいかがですか?〉

東京おりーぶ苑

看護師長 秋田谷 真由美

〈なののはなスマイル〉施設の笑顔紹介

●ハートケア市川

●蒼生の杜

〈老健ちばカレンダー〉
〈編集後記〉

<http://www.chiba-roken.jp/>

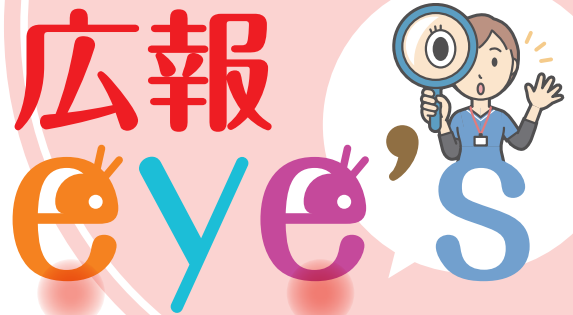
2026年1月21日 発行

第36回 全国介護老人保健施設大会 山口

大会テーマ

『昭和百年、老健 続く』
～ 想いを継ぎ 技を磨き 人を繋ぐ ～

開催期間：令和7年11月27日(木)・28日(金)



第36回全国介護老人保健施設大会が令和7年11月26日～27日の2日間、山口県の下関を会場に開催された。

今大会のテーマは『昭和百年、老健 続く』想いを継ぎ 技を磨き 人を繋ぐ。これまで培った老健施設の軌跡を再確認し、これからの方向性を問う講演やシンポジウムが行われ、参加者の関心も高かった。

全国より800を超える演題が集まり、16会場で「医療と看護介護」「リハビリテーション」「人材」「業務改善と効率化」「在宅支援」「食事(栄養)ケア」「リスクマネジメント」「レクリエーション」「認知症」「災害・介護ロボット」などテーマ別に発表が行われた。

幅広いテーマの中、見守りセンサーなどテクノロジーを活用した業務改善について効果を示す発表が複数みられた。生産性向上推進体制加算や補助金が増え、導入が進んでいると考えられる。一方厚生労働省による特別講演でも提起されたがテクノロジーをいかに使いこなすか課題であり、次回大会でもICTを活用した研究発表が行われることが期待される。

全国介護老人保健施設大会のように、幅広いテーマを複数の職種で発表を行う場は少なく、多職種で多機能である介護老人保健施設を象徴した大会と言えるのではないだろうか。



千葉県からの参加

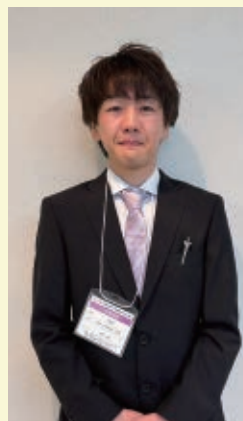
千葉県より22施設30の演題発表がありました。発表後のお二人に感想を伺いました。

総和苑

中野隆仁さん(作業療法士)

テーマ「体操を行う事によるBPSDの改善に伴う業務負担の変化」

今回研究発表が初めての経験でしたが、認知症によるBPSDについて改めて勉強し、またスタッフの抱える現実の問題を知る機会にもなりました。今回全国大会での発表の機会をもつことができて本当に良かったです。



はさま徳洲苑

田中啓之さん(介護職)

テーマ「全自動歯ブラシ導入によるケア向上と波及効果の検証」

全国から目標をもっている人たちが集まる場で、自分自身と共通の思いを感じることができました。また今回発表した以外にも考えているテーマがいくつかあり、他施設の発表がとても参考になりました。全国大会は、利用者も介護者もみんなが幸福度を高めるための方法を共有する場だと思っています。ぜひ来年も参加したいと思っています。



下関を代表する冬の味覚『ふく三味鍋』を会場で頂くことができました！



次回開催は栃木県！

中央が田中さん▶

フォーカス 老健 ちば

新年のごあいさつ



千葉県老人保健施設協会
会長 梶原崇弘

謹賀新年
謹んで新春のお慶びを申し上げます。
会員の皆様におかれましては、日頃より当協会の活動に深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
昨年を振り返りますと、物価やエ

ネルギー価格の高騰、人材確保の困難さなど、老人保健施設を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続きました。そのような中であつても、利用者一人ひとりの尊厳を大切に、在宅復帰・在宅生活支援という老健本来の役割を果たすべく、現場で懸命に取り組まれている会員施設の皆様に、あらためて深い敬意を表します。

本年は、地域包括ケアシステムのさらなる深化に加え、医療・介護・福祉の連携強化、ICT・DXの活用、人材育成と働きやすい職場環境づくりなど、老健に求められる役割が一層多様化・高度化していく年になると考えております。当協会といたしましても、行政や関係団体との連携を密にしなから、現場の声を丁寧に汲み取り、会員施設の運営と実践を力強く支援してまいります。

「なのはなだより」は、会員相互の情報共有と連携を深める大切な広報誌です。本誌を通じて、各施設の取り組みや課題、そして未来への展望が共有されることで、千葉県における老人保健施設のさらなる発展につながることを期待しております。

結びに、本年が会員の皆様、ならびにご利用者・ご家族の皆様にとって、健やかで実り多い一年となりますことを心より祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。



アンケート結果報告(一部抜粋)

対象施設 150(会員施設127)
回収数 114 ※会員105/非会員9
回収率 76% ※会員施設回収率 82.7%

千葉県老人保健施設協会の新体制に伴い、梶原会長より今後の連携と発展のために現状把握に努めたいとの意向でアンケート調査を行いました。まずは運営側を代表し、会員施設からの回答率82.7%のご協力、誠にありがとうございました。今後、アンケート結果を考慮し、県内老健の会員施設のニーズに沿った紙面づくりに務めてまいります。
各項目について一部となりますが、事務局よりお伝えいたします。

施設区分

	超強化型	在宅強化型	加算型	基本型	その他	未回答
施設数	25	13	43	27	5	1
%	22%	11%	38%	24%	4%	1%

- ・施設区分では、約7割が加算型以上の運営。
- ・インカム導入率は2割以下、通信としてはPHS等が主流であり、3割以上が勤怠管理のシステムを導入。
- ・現在注目されている生成AIの導入施設はごく少数であった。

導入しているICT機器

	内線 (スマートフォン)	内線(PHS)	インカム	介護見守り カメラ	見守り システムセンサー	生成AI (RPA含む)	グループ ウェア	介護ロボット 関連	勤怠管理	その他
導入している 介護DX	20	71	21	25	34	2	5	19	37	9
%	18%	62%	18%	22%	30%	2%	4%	17%	32%	8%

不足している職種

	医師	看護師	理学 療法士	作業 療法士	言語 聴覚士	管理栄養士 栄養士	調理員	薬剤師	歯科 衛生士	介護職員	施設 ケアマネ	支援 相談員	事務職	送迎職員	介護補助	その他
足りていない 職種	2	55	17	16	21	11	18	1	6	81	14	20	6	24	9	2
		48%								71%						

※複数回答あり

施設において、現在苦慮している・解決したい・関心があること

	協力医療 機関	感染症 対応	人員不足	人材教育	介護DX	物価高騰	介護保険 加算関連	外国人 受入れ	多職種 連携	災害対策	ハラスメント 対策
現在苦慮している・解決したい 関心があることをご回答ください	8	8	70	49	31	72	25	7	16	13	18
			61%	43%		63%					

※複数回答あり

- ・苦慮している項目では、世相を反映し物価高騰を筆頭に、人員不足の回答61%、職種としては介護職、看護職の不足が目立つ。
- ・人材不足と育成は相関関係があり、その環境づくりもまた、大きな課題ではないでしょうか。



令和7年度 千葉県老人保健施設大会

最優秀賞 ハートケア流山

心理的安全性に配慮した人財育成 ～高卒者の人財定着システム～

今回、令和7年度千葉県老人保健施設大会で最優秀賞を受賞された、ハートケア流山様へ「地域とのつながりで人財育成」～高校生から福祉のPROへ～についての取材と施設見学に伺わせて頂きました。
当日は、発表者である山崎彩華さん、共同演者である渡邊隆雅さん、下城結衣さん、介護部門責任者である赤澤健児さんを中心に演題の内容から発展して「高卒者の人財定着システム」その根幹となる教育システムについてのお話も伺う事が出来たので、ご紹介させて頂きます。



本研究の要旨

高卒無資格から福祉のプロを目指す研究である。

目的は、高卒無資格者が根拠ある介護実践ができることであり、資格取得、それに加え現場で活かせる知識技術の習得を目指し、精神面への配慮や学びやすい環境設定を行い、講習会を実施した。その後は施設独自の高卒無資格者向けマニュアルでOJTを実施した。

結果、講習対象の高卒無資格者の定着率100%に加え、介護福祉士取得者も誕生した。同じプロセスを経て学んだ卒業生がいるという安心感が心理的安全性において大きく作用した。地域のつながりで担い手を確保し、指導者として活躍していくキャリアの好循環が出来た。

人財育成の基盤となる 独自の教育システム

ハートケア流山では、資格の有無に限らず、以下の4点を基盤とした教育システムで人財育成を行っています。

① キャリアラダーシステムの導入・活用

厚労省の「介護プロフェッショナル段位制度」を基に法人グループが開発したキャリアラダーシステムを導入し、知識・技術・態度ともに優れた人財育成を進めており、教育担当者は総じて「レベル3」以上の者で構成するようにして、指導者の成長も促しながら、教育の質を担保している。

② 個別指導計画、マニュアルの活用

特筆すべきは、「敢えて最初から身体介護を行う即戦力の育成を行わず、庶務業務からはじめ、少しずつ社会人として慣れてもらう」指導計画である。また個人の進捗状況に応じて柔軟に対応すると共に、指導の統一性を担保する為に積極的に各種指導マニュアルを活用している。

③ プリセプターによる定期面談

最低でも年3回の定期、更に必要に応じて面談を行うことで、業務の定着状況や悩みや希望、思いを早期に把握することを可能にしている。

④ 基礎～応用の講習会実施や外部研修への参加

「根拠ある介護の実践」をテーマに経験に応じ

た施設内の講習会を受講してもらっている。更に外部研修への参加も積極的に勧め、多くの学びを得られる機会を創出している。

普段から職員間のコミュニケーションが活発な組織風土によって周囲の協力を得られる環境が整っていることで、この教育を基本的に業務時間内に行っていると看做すことも、ハートケア流山の特徴といえます。



インタビューに答える人財育成の
中心メンバーである介護福祉士の皆さん

高卒者の指導を支える3本の柱

学生から社会人という大きな環境の変化に晒される高卒者を指導するにあたって、大きく3つの点に留意しているそうです。

① 個別性

その人の性格、思い、得手不得手などを考慮した教育プログラムと得意な分野への仕事の割り当て。

②心理的安全性

・プリセプターには、年齢の近い同性の職員を配置する、同じ高校の卒業生がいるフロアへ配属するなど、相談しやすい・話しやすい環境を提供する。

・「詰め込みすぎ」を徹底的に排除し、社会人のモラル・マナーから学べ、生活支援業務、身体介護業務と段階を追って進む「すぐには現場投入しない」教育プログラム。

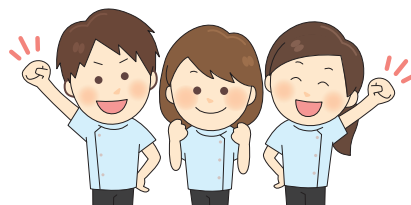
・定期的な1-on-1の面談を行うことで、職員の特性を把握すると共に職員間のコミュニケーションのハードルを下げ、息抜きの時間にもなれるように配慮している。

③マンツーマン指導

プリセプター制度による指導者と新入職員のマンツーマン指導体制だけでなく、指導可能なレベルに達している、或いは指導に適した職員を配置することにより、マンツーマン指導を確立している。

高卒者の指導における 3つのキーワード

- ①個別性
- ②心理的安全性
- ③マンツーマン指導



採用のカギは

「とにかく人に入ってもらおう」

施設に隣接する高校とは、吹奏楽の演奏に来てもらうなどの交流が以前からあったそうで、そこから授業の一環でインターンシップとして、高校生が介護の世界に触れる機

会を作っていたそうです。

高卒者の採用のカギは「とにかく施設の中へ人に入ってもらい、我々の顔が見え、心理的障壁を下げていくこと」だそうです。今後は夏休みなどの長期休みでアルバイトとして受け入れる計画もあるそうです。

実際に、昨年インターンを経た10名のうち3名が今年度の採用に至ったそうです。そのうちの一人に施設見学時、お話を伺いましたが、「知っている、慣れている環境で就職できたので、非常に働きやすい。職員も優しく、よく教えてくれる」と満足気でした。



福田広報委員長の取材を受ける新入職員

更なる高みを目指して…

新たな課題として、教育の質の向上目的に、これから中心となっていく講習会の若手講師陣の育成を進めていて、「個々人が納得理解できる指導の実践」という更にレベルの高いテーマに挑戦中だそうです。

それ以外にも、地域の訪問事業所への介護技術指導や、在宅や施設、病院での介助の負担軽減を目的とした製品

開発に携わっているそうで、今後のハートケア流山の取り組みにも大注目です。

取材を終えてみて…

今後、2040年に向かって労働生産人口は減少、高齢者人口は増加すると言われている中、人財確保と育成、その定着はますます重要な課題となっていくと見えます。各地域の人口動態や特性はあるものの、至る所で心理的安全性に配慮されたハートケア流山の取り組みは、どれも参考になるモノばかりでした。この度は取材にご協力頂きありがとうございました。再度、最優秀賞受賞おめでとうございます。



(左から)事務長の高山和夫さん、看護部長の山下ひとみさん、介護福祉士の山崎彩華さん、副主任の渡邊隆雅さん、介護福祉士の下城結衣さん、介護看護部科長の赤澤健児さん

研・修・会・報・告

感染症研修

令和7年10月17日(金)「会場ポトプラザちば」にて、感染症研修会が開催されました。今年も29施設から42名の介護・看護職員を中心とした多くの参加者が集まりました。

午前中は、千葉がんセンター感染管理部 感染管理認定看護師 大塚モエミ氏を講師にお迎えして「感染対策の基本的な考え方」をテーマに新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス、疥癬といった感染症を中心に標準予防策と感染経路・予防策、ゾーニングの考え方と注意点といった基礎的な知識を講義していただきました。基本的な感染症の知識と対策は勿論のことですが、最新の感染症の考え方も交えての講義であった為、新鮮であったようで、皆様真剣に聴講されていました。

後半は、グローブを外した後の手指の汚染を確認するために、着用したグローブに疑似的な汚れを擬似的に付着させ、グローブを外した後の手指をブラックライトで照らし、汚染状況を確認するといった体験を混ぜながら、参加者の感染に対する意識を高める講義となりました。



午後は、千葉総合救急災害医療センター 看護局主任看護師 白熊久美子氏が講師に加わり実技演習として「個人防護具の適切な使用について」をテーマに実際に正しい防護具の着脱について指導いただきました。その後は「感染症発生時の対応」をグループに別れディスカッションを行いました。

参加者は各施設の感染症発生時の対応について共有しながら、老健としてリハビリを継続的に提供できるよう、現場で発生している状況を把握し、適切な対応を考えられるように今回の研修に取り組みました。

新型コロナウイルス感染症の流行から、感染症に対する意識が世間で高まった一方、五類感染症になった現在では、新型コロナウイルスについては薄まりつつある印象です。

施設では感染症に対しての最新の知識を学び、常に高い意識を持ち、日々の業務の中で感染リスクを再度見直して行く事の必要性を感じさせる研修でした。

口腔・栄養・リハビリ研修会

令和7年12月1日(月)口腔・栄養・リハビリ研修会が開催されました。ホテルポトプラザちばを会場に、26施設から52名の参加者がありました。

午前は、東京科学大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション分野 戸原玄教授を講師に迎え、「これからの摂食嚥下リハビリテーション」をテーマに講義がありました。

25年以上前から訪問診療で地域の対象者へ、摂食嚥下リハビリテーションに携わった実践に基づく、講義内容でした。

午後は、平成医療福祉グループ 栄養部 長堤亮介氏を講師に迎え、「リハ・栄養・口腔の一体的取り組みについて」をテーマに講義がありました。グループワークも行い、リハビリテーション・栄養・口腔の一体的取り組みについて学びました。

今回の研修では、管理栄養士・言語聴覚士・歯科衛生士等、施設内では少ない人員の職種が多く参加し、講義内容に対する関心の高さがうかがえました。



参加者の感想



シルバーケアセンター
管理栄養士
加瀬 彩乃

今回の研修会に参加して、リハビリ・栄養・口腔の関係性、一体的取組による多職種での情報共有、支援の仕方について理解を深めることができました。

一体的取組とは、多職種で情報共有を行った上で方針や目標を決め、それに沿って計画書を作成し支援していくことが重要であると学びました。また、これからの管理栄養士の役割として給食管理や栄養ケアマネジメントでの栄養管理だけでなく、「ひと」としての関わりを大切にしたい栄養管理が必要であるということも学び、ミールラウンドや食事相談、他職種との情報共有を通して利用者の気持ちを汲み取った栄養管理を行えるように意識していきたいと思いました。

最後のグループワークでは実際に計画作成を行ってみて、多職種が集まるとそれぞれの目線の考え方があったのだと感じました。他施設での取り組みや悩みなども共有して、多職種の方々とコミュニケーションを取ることができ、とても充実した研修会でした。





びを通じて脳を活性化させ、認知症予防やストレス解消につながると注目されています。狭いお店には、ぎゅうぎゅうのお客様。「先日の落語会はさあ…」なんて常連さんの言葉に、場違い感は強まります。そこは、お酒の力を借りて

近年、落語は、笑いやことば遊びを通じて脳を活性化させ、認知症予防やストレス解消につながると注目されています。狭いお店には、ぎゅうぎゅうのお客様。「先日の落語会はさあ…」なんて常連さんの言葉に、場違い感は強まります。そこは、お酒の力を借りて

歳を理由にしたくはありませんが、物忘れが多くなった気がします。健康寿命を延ばそうと、意識的に体を動かす努力はしていますが、認知機能の衰えはどうしたらよいものか。



東京おりーぶ苑

看護師長 秋田谷 真由美

脳活に『落語』はいかがですか？



落語がお好きな方は、いざ知らず。「落語って？」とお思いの方には、おすすめしたい「美味しい脳活」です。

何とかしのぎ…。落語の前の話は「まくら」といわれますが、時事ネタからスーッと噺家さんの世界に入ってしまう、気づくと大笑いしていました。

落語は、扇子と手ぬぐいを小道具に、噺家さんが語り手となり、何役もこなしながら話を演じるものだそうです。初めて聞く話に身を乗り出し、オチを想像したり、思わずおもしろいようなサンマを想像したり。噺家さんの演技に日本の伝統芸能の所以を感じた夜でした。

未体験のことに遭遇すると、脳は活性化すると、脳は活性化

新車・中古車販売

新車の福祉車両はもちろん中古福祉車両もご用意しております！

福祉車両
中古福祉車両

買取

大切なお車買取いたします。業者見積りだけでも対応いたします。車イス移動車、スロープタイプ。その他福祉車両お持ちしております。

車検・点検 販売・修理

一般の車はもちろん福祉車両の車検点検、整備、修理も行ってまいります。福祉車両ならではのリフト部分やサイドステップ、車イス固定装置などの福祉部のメンテナンスを行います。また、お車をお預かりする際は福祉車両の代理をお出しいたします。

リース

法人様向けに「福祉部メンテナンス」(福祉車両代車)をふくんだ福祉車両に特化したリースをご利用いただけます。その他、ファイナンスリース、保険付帯なども承っております。

レンタカー

様々な車種の福祉車両レンタカーをご用意しております。1ヶ月以上の長期貸出しもできます。

保険

自動車保険をはじめ、火災・盗難・衝突・悪天候各種お取り扱いいたします。誠実・迅速をモットーとし、お客様の期待と感謝にお応えします。

インジニアス 株式会社

福祉車両のことならお任せください！

048-263-9180

FAX 048-263-3452

〒333-0848 埼玉県川口市芝下1-14-23

BCP・日常業務に業務用無線がお役に立ちます

災害時の避難誘導に

緊急連絡手段として

簡単操作で一斉通話

業務用無線機・インカム・トランシーバー販売

関東電子株式会社

〒260-0022 千葉市中央区神明町5-15

0120-456-720

テスト機 無料貸出中！

なのはな スマイル

明るく! 元気!
施設の笑顔をご紹介します!



■ ハートケア市川

多職種が連携しながら個々の状態に合わせたリハビリとケアを提供しています。利用者さま一人ひとりに寄り添い、地域に開かれた施設づくりを進め、安心して過ごせる環境をめざしています。温かい雰囲気と確かな技術・支援がハートケア市川の魅力です。

住 所：市川市奉免町59番地2
電 話：047-303-8222
開設日：平成12年11月1日
入 所：120名
通 所：50名

妊娠してから、チームで助け合う姿勢をより大切にしています。多職種で支え合う老健らしさを胸に、日々の業務に向き合っています。

理学療法士
梅野 晶



■ 蒼生の杜

当施設はその名の通り、緑に囲まれた広々とした施設です。千葉県でも数少ない有資格職員による音楽療法も定期的に行っています。併設のクリニックと連携し入所透析もできる、医療と介護の複合サービスを提供しています。

住 所：柏市逆井字定山437-28
電 話：04-7160-0001
開設日：平成12年7月1日
入 所：100名
通 所：40名

楽しく安全に食べられるよう、他の職種と協力しながら認知症、言語、嚥下のリハビリを提供しています。

言語聴覚士
伊藤 千枝子



老健ちばカレンダー

●1月22日(木)…管理者研修会 ●2月6日(金)…支援相談員部会 ●2月12日(木)…認知症研修会

場所と時間はHPでご確認ください。皆様のご参加をお待ちしております。

●編集後記

- 明けましておめでとうございます。昨年11月に全国介護老人保健大会で山口市の下関に行ってきました。久しぶりの参加でしたが、発表のテーマ・職種も幅が広がり老健の多職種連携の力を実感しました。会場でいただいた「ふく鍋」も美味しかったです。山口県の実行委員の皆さんありがとうございました。(白石)
- 本年もよろしくお願いします。昨年度から特集ページを概ね1年担当し、様々な施設の取材をさせていただきましたが、どの施設の方々もやる気に満ち溢れていて、刺激になることばかりでした。今年もどんな方々との出会いがあるのかワクワクしております。私事では、子が保育園年長児となるのですが、この前入ったように感じたのに、時が経つのは何と早いものか…。(古田)
- 明けましておめでとうございます。今年も平和に、なのはなだよりの編集に携われる幸せを噛みしめています。会員施設の皆様の励ましで、充実した活動です。いつもありがとうございます。(若林)

- あけましておめでとうございます。昨年は1年が早く感じました。子どもの頃に「だんだん一年が早く感じる」と両親が言っていたのを思い出しますが、私もそのような年齢になったのでしょうか。時間を忘れて仕事に勤しむことができるのは、きっといいことなのでしょう。今年の抱負も挑戦です。いろいろな事を経験して、たくさん失敗しながら生きていきたいです。今年も一年間よろしく願います。(松戸)
- 明けましておめでとうございます。昨年は、アンケート調査のご協力に感謝致します。アンケート調査の結果、千葉県全体で今、150施設あり、会員施設が127施設でした。私が広報委員に入った頃から12施設が退会している事に驚きました。今年も会員施設が一丸となって千葉県の老健が更なる活躍ができる年にしたいと願っております。(福田)

